



## 会場が歌声に包まれる

フレンズ企画  
Part.35

観客の手拍子の中「明日があるさ」を歌うベイビー・ブー



7月27日第35回フレンズ企画「うたごえ音楽会 ベイビー・ブー&新宿ともしびとともに」が文化の家森のホールで開かれました。演奏会は、新宿うたごえ喫茶の方々が中心になり、ベイビー・ブーとともに、会場のみなさんと懐かしい歌をたくさん歌いました。

休憩後はベイビー・ブーのアカペラコンサートです。「高校三年生」「銀色の道」「明日があるさ」の後は「いのちの理由」「乾杯」などを、すばらしいハーモニーで歌い上げました。



「翼をください」をリクエストした小学生とともに

まず会場からたくさんの方のリクエスト曲を集め、「四季の歌」「学生時代」などを会場の皆さんと歌いました。また、9才の男の子が、学校で習ったという「翼をください」をリクエストし、舞台上で歌う可愛い参加者に観客は大喜びでした。

最後に再び、みんなで歌おうのコーナーがあり「花は咲く」など数曲歌った後、リクエストの「見上げてごらん夜の星を」を手話を交えながら歌い、盛大な拍手でコンサートは終了しました。

### みなさんの感想

♪ おばあちゃんとお母さんと来ました。「翼をください」を皆さんの前で歌えて楽しかった。「上を向いて歩こう」もリクエストしましたが寝てしまいました。(9才男児)

♪ 最近カラオケに行く回数が減ったので、久しぶりに大声を出して歌えたから楽しかった。(50代男性)

♪ 「アムール河の波」は高校のころ合唱し、難しい曲だったのを思い出し懐かしかった。(40代女性)

♪ 大学が封鎖されて授業がなく、学友とともに「ともしび」に通いました。当時をあれこれ懐かしく思い出し、一緒に通った友人にメールをしたくなりました。(60代男性)

♪ 本当に美しい歌声でした。皆さんと声を合わせ歌うことに、カラオケとは違ったものがあり楽しかったです。(80代・50代母娘)

2016

# おんぱく

おんぱくは6月からの約二ヵ月間ステッカーを集めてめぐる「まちなかコンサート」で市民を楽しませてきましたが、最終日の8月7日長久手市文化の家に一日限りの夢の館「おんぱく王国」を開きました。

2016年のテーマは「音楽の王国」。クラシックの名曲エルガー作曲「威風堂々」をテーマソングに長久手を音楽でいっぱい！

「おんぱく王国」では子どもも大人も間近で見て、聴く、生の音楽を体験。「はじめての楽器体験」「あなたも名指揮者」「オペラ歌手が教えます！ひびく声の出し方」など14の音楽体験コーナーはどこも盛況。文化の家は音楽のテーマパークのよう。



音楽家による生演奏



おんぱく王国の王様登場！

生の音楽は  
すばらしい！



イラストレーション：田邊武士

午後3時ごろには全国から集まったプロフェッショナル集団による「スペシャルオーケストラ・メインコンサート」が始まり、スペイン奇想曲、ドリー組曲「子守歌」、ハレルヤコーラスなど計7曲が演奏され、最後にエルガーのおんぱくバージョン「威風堂々」を観客の皆さんと合奏、大歓声の中おんぱくは感動的なフィナーレを迎えました。

## フレンズ企画 Part. 36



お知らせ

女性3人組  
音楽ユニット

MAR(マル)の

# ワイワイ X'mas & ティーパーティ

12月18日(日)午後2時開演

文化の家 舞踊室

全席自由 フレンズ会員 1000円 (前売りのみ)  
一般 1500円



## 長久手の警固祭り

エッサイ(栄祭)、ホーサイ(豊祭)、エッサイ、ホーサイ、お馬塔の隊列がやってくる。

長久手市には長湫、岩作、上郷の三地区で警固祭りが県・市指定無形民俗文化財に指定され保存されている。最近では各地区が輪番となり私たちは毎年警固祭りを楽しむことができるようになった。

警固祭りの歴史は古く江戸時代に遡る。不思議なことに当時の武器で

ある火縄銃の所持、使用が農民に許されていたようだ。これも尾張徳川家の鷹揚さでしようか。

かつて警固祭りは豊年祭りとして尾張三河の広域で行なわれていたが、昭和40年代には都市化による発砲場所の確保や伝統芸能の継承の難しさもあり、多くの地域で姿を消した。

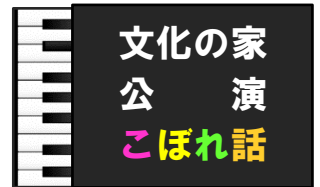
早朝よりそれぞれの馬宿を出立した二つの隊列は地区内を約一〇〇〜二〇〇丁の火縄銃を発砲しながら氏神を目指して練り歩く。氏神様で出会った二つの隊列は「出会いの口上」を述べる古式にのっとりた儀式を行ない、大群となり一気に境内を駆け上がる。奉納される県指定文化財棒の手の気合や、何百丁という火縄銃の音が鎮守の森にこだまする勇壮な祭りです。今年も長湫地区の警固祭りが十月九日に開催される予定です。



勇壮に馬と共に疾走する人



# 天才パーカッション集団・タンブッコ 長久手 D A Y S



長久手市文化の家 事業係 生田 創



芸術性豊かな、見て聴いて楽しいパフォーマンス

映画「007スペクター」の公開を控えた2015年10月、この映画の音楽を担当した世界的なパーカッション・グループ《タンブッコ》が長久手にやってきました。

ご縁があって「タンブッコが、長久手公演のために新作を書き下ろす準備がある」というお話が舞い込んだのです。この千載一遇のチャンスを逃すはずもなく公演が実現しました。その新作とは名古屋を拠点にインドネシアの民族楽器ガムラン・ジェゴグ（竹の木琴のようなもの）を演奏する打楽器グループ・スカルサクラのために、タンブッコのリーダーであるリカルド・ガヤルドさんが作曲した《カフェ・ジェゴグ》でした。

タンブッコは、6日間にわたって長久手に滞在しました。彼らはなんと、この新作を含む新譜のレコーディングのために文化の家を選び、最高の音質で世界に発売されることになったのです！

リハーサルで何より驚いたことは、4人がどんな距離で演奏していても必ずピタリと呼吸が合っていること、そして、完全に同じテンポ感とリズムを共有していることでした。それも、何事でもないような涼しい顔で…。そこから生まれる音楽は、超自然のリズム感と洗練の極みともいえるものでした。



調理器具を手に子どもたちと

公演前日には、市内の小学生350人を招いて、参加型のコンサートが行われました。子どもたちをみると何やら食器や調理器具を手にしています。そう、これはタンブッコが事前に仕組んだ参加プログラムでした。メンバーの指示でまずは小さな音から自由に音を鳴らし始めると、その響きはなんと小雨が降っているよう！それはまるで宇宙にこだまするかのように神秘的でした！少しずつ音を大きくしていくと土砂降りの大雨に。「日常にあるものも感じ方一つで楽器にも音楽にもなるんだよ」と、リカルドさんは子どもたちに伝えていました。

本公演は、打楽器のために書かれた名作のオンパレード！カホン、マリンバ、スネア、ティンパニなど無数の打楽器を縦横無尽に操り、4人の天才的な感性が結合した圧倒的なステージでした。最後はいよいよ《カフェ・ジェゴグ》の世界初演。入念なリハーサルから生まれた音楽は、モダンでスタイリッシュなセンスが光り、同時に地の底から湧きあがる土着的な響きが絶妙に結びつく名演で、新しい歴史が生まれた瞬間でした。

年が明けて1月、この演奏はCDとなって発売され、レコード芸術誌（音楽之友社）の月評で特選盤の評価を受けました。この名演の記録をぜひみなさんもお聴きください。



タンブッコと打楽器グループ・スカルサクラ



カフェ・ジェゴグ／タンブッコ

マイスターミュージック

MM-3067

録音：2015年10月

長久手市文化の家森のホール

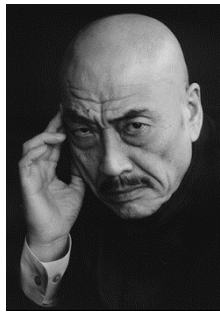
# おすすめ公演!

文化の家生田さんのチェックポイント

世界的大御所が長久手にやってくる!

## T FACTORY 荒野のリア

あの「リア王」を、世界的舞踏家として長年活動してきた磨赤兒が「荒野のリア」と題してシェイクスピアに初めてチャレンジします。熟練の舞踏家が俳優としてどのような表現をするのか、興味深くもあり、楽しみでもあります。



10月8日(土) 15:00開演 風のホール

## 安倍圭子

ヴィルトゥオーサ・マリンバ・コンサート

マリンバの世界的先駆者であり、かつ大御所。マリンバの歴史とともに生きて、活動64年。若い奏者には古典とも言えるオリジナル曲も多



数あり、強烈な集中力を持った自在な表現力で聴衆を魅了します。

西川流家元 西川千雅・バリ島ガムラン演奏のスカルサクラとのジャンルを超えたコラボレーションは長久手だけの試みです。

「音」と「舞」の夢空間をご期待ください。

10月15日(土) 15:00開演 森のホール

イッサーリス チェロ・リサイタルとの  
セット券なら1000円お値打ちになります!



## ひとりごと

はやりの歌は知らないし、歌うのも苦手だけれど、子供のころからなじんだ昔の歌、思わず口ずさみたくなるいい曲いっぱいあったな、と心がほっこりした「うたごえ音楽会」でした。(せ)

## スティーブン・イッサーリス チェロ・リサイタル

好評につき 2012 年  
以来 2 度目の公演。  
チェリストとして、  
心技体が一致し充実  
した年齢であり、英  
国王立音楽院より貸



(C) Jean Baptiste Millot

与されたストラディヴァリウスでどのような音色を奏でるか、是非ともお聞きください。

10月23日(日) 15:00開演 森のホール

長久手だけ

前日には、先回大反響を呼んだ  
キッズ向けコンサートもあります!!

## ほっと すぱーす

俄かに信じられない光景が目  
前にある。邂逅といつていい。三羽  
のカワセミが真向いの堤に横一列  
に並び川下の一点を見つめている。  
私は視線をわずかに右に振った。大  
きく倒れた孟宗竹の川面ちかく親  
鳥が幼鳥と向き合っているのが見  
て取れる。この感動は他の鳥のそれ  
でない。私は唖に焼き付け、この場  
に居合わせた幸運をかみしめた。  
カワセミは美しい鳥である。頭か  
ら肩、翼上は濃い青緑色、背腰は鮮  
やかな明るい青色、胸腹は赤褐色で  
ある。中でも最も目を引くのが背面  
のトルコ石のようなスカイブルー



## かなれの空飛ぶ宝石

市内住 老公

である。これぞ「空飛ぶ宝石」たる所  
以であろう。  
水面をかすめて飛行する姿や、獲  
物をめがけての水の中へのダイブなど  
私の眼を釘付けにして止まない。  
ついにながら、私は天気が好いと  
週に一度は香流川にそって散策す  
る。川辺の草木に季節の移ろいを知  
り、昆虫や野鳥を観察するのも面白  
い。多年の宅地開発でこの街の景色  
も様変わりしつつあるが、岩作橋辺  
りからの上流域はまだまだ川沿いの  
自然も程好く残されていて見飽きな  
い。この景観をいつまでもと願いつ  
つ今日も逍遙を楽しんでいる。